

札幌市立大学 広報展開のコンセプト（2024 年度～2029 年度）

1. 広報の目的

第三期中期計画（2018 年度から 2023 年度）において策定した広報戦略での成果とともにその課題を踏まえ、教育・研究・社会貢献の取組やその成果について、大学の教員・職員、そして学生一人ひとりがステークホルダーのニーズを踏まえた情報発信を行う。それとともにそのシーズにも着目しステークホルダーに対してより積極的に働きかけることで、これまでの取り組みと実績にもとづいた「知と創造の拠点」として、「社会に開かれ、社会とともに作り、社会の力となる大学」と広く認知されることを目的とする。

2. 広報のテーマ

「広報はステークホルダーへの『大学の見える化』である。」

これまで本学のステークホルダーとしてきた 4 つを再設定し、教員や学生の研究活動の活性化と成果の活用の視点から、地域を担う③市民、行政、社会、④企業、病院、他大学、研究機関との連携、関係強化を明確化する。

- ① 受験生及びその保護者、高等学校等
- ② 在学生及びその保護者、卒業生、教職員
- ③ 市民、行政、社会
- ④ 企業、病院、他大学、研究機関等

本学が「知と創造の拠点」として、新たな価値を社会に還元するために、「広報は大学とステークホルダーとの「共感」「理解」「行動」を促進するためのツールである」との認識のもと、「広報力の強化」「組織力の強化」が必要である。そのために次の施策を実施する。

3. 基本戦略

- (1) 広告を打ち出すことで、ステークホルダーへの接触数を増やす。
- (2) ステークホルダーと直接関わる機会を創出することで、興味を持ってもらう。
- (3) 興味を持ち、本学を調べに来たステークホルダーにより深い認知を促す。
- (4) 研究シーズをステークホルダーにわかりやすく発信・拡散することで、新たな取組につなげる。